

重点改革項目Ⅰ「安心政令市にいがた」の実現に向けた機能強化

大項目	選択と集中による経営資源の適正配分				No.	16	
中項目	電子自治体の推進				担当課	IT推進課	
具体的な改革項目	情報システム最適化の検討						
現状と課題 (これまでの取組)	ホスト系システムは、業者独自技術の採用や度重なるシステム改修で複雑化しているため、システム改修の度に、高額な費用を要求されている。また、オープン系システムは、約100のシステムが乱立しており、システムの増加による機器賃借料やデータセンター利用料など運営経費が増加している。						
改革実施概要	改革の目的、考えられる効果	・老朽化や複雑化で非効率となった市全体のシステムを、仮想化技術（複数の機器を統合して1つの機器で動作しているようにする技術など）を用いたシステム統合基盤を活用して再編する「情報システムの最適化」により、継続的なシステム運用費用の抑制を図る。					
	取組の内容	・市全体の約120システムの現状調査をした上で、多方面から検証し、事業規模や費用対効果の把握を行う。なお、調査・検討は2か年度で行う。					
	取組工程 (具体的な内容)	現状	平成25年度		平成26年度		最終目標／ 27年度以降
			計画	実績	計画	実績	
	・システムの基礎調査を実施	・技術動向等調査 ・システムの現状調査 ・課題抽出	・システム提供事業者へ技術動向についての情報提供依頼を実施 ・政令指定都市等の自治体へ動向についての情報提供依頼を実施 ・庁内105システムへ調査票による調査を実施 ・収集した情報から課題を抽出整理し、調査報告書を作成	・課題解決方針検討 ・最適化の範囲や手法を検討 ・事業規模や費用対効果を試算 ・検討結果報告書作成 ・最適化の実施判定	・課題解決方針検討 ・最適化の範囲や手法を検討 ・事業規模や費用対効果を試算 ・検討結果報告書作成 ・最適化の実施判定	・最適化の実施が決定された場合、構築に向けた要求定義を実施	
指標	最適化の実施判定	未実施		実施	実施		

		平成25年度		平成26年度	
(各年度10月、年度終了後に実施)					
進捗管理	取組の状況	上半期 (4~9月)	・技術動向・他自治体動向の調査を実施 ・システムの現状調査を実施	予定通り進捗	予定通り進捗
		下半期 (10~3月)	・システム提供事業者10社より技術動向情報を収集 ・政令指定都市等の25自治体より動向情報を収集 ・本市の業務遂行に欠かせない情報システムのうち、最適化対象となりうる105システムについて、機器構成や運用状況等の情報を収集 ・調査報告書（本編50ページ、最適化課題表、各調査結果資料等）の作成	予定通り進捗	予定通り進捗
		平成25年度		平成26年度	
		・平成25年度の調査報告書をもとに、各工程（課題解決方針の検討、最適化の範囲や手法の検討、事業規模や費用対効果の試算等）を実施し、検討結果報告書を作成のうえ、最適化実施計画を策定する。		・平成25年度の調査報告書をもとに、最適化の実施判定を行う。 ・最適化実施判定を行った場合は、平成27年度以降に実施する工程（システム要求定義）の準備を行う。	

		平成25年度		平成26年度	
年度評価	(年度終了後に実施)				
	取組工程、指標に対する評価	当初の計画を適宜調整しつつも、予定通り調査工程を実施し、調査報告書を作成した。	B	当初の計画を適宜調整しつつも、予定通り検討工程を実施し、検討結果報告書の作成、最適化基本計画の策定を実施した。 策定した最適化基本計画等をもとに、最適化実施判定を得た。 実施判定を得られた後に、平成27年度以降に実施する工程（システム要求定義）の準備を行った。	B
	課題、今後の方針、改善事項など	<ul style="list-style-type: none"> 調査報告書をもとに、平成26年度作業（計画策定・事業費算出等）を実施する。 他業務（予算編成支援・調達支援等）で活用できるように、収集したシステム情報を再度整理し、台帳化を図る。 システム情報の最新化を図るため、調査のタイミングや実施方法の検討が必要 調査後に判明した不足分の情報は、平成26年度中に追加調査を実施する。 		<ul style="list-style-type: none"> システム所管所属を対象とした説明会やワーキンググループを開催し、最適化実施計画の周知を図り、理解を深める必要がある。 実施判定を得られた後は、各所属にてシステム再構築準備が必要となるため、人員配置やIT推進課の支援方針を明確にする必要がある。 今回計画した最適化の実施後も、継続して現状分析や改善活動を行う必要がある。 	

		総合評価		平成27年度以降
計画期間の評価	(平成26年度上半期終了後に実施、下半期終了後に最終確定)			
	取組工程、指標に対する評価	<p>計画どおり、本市情報システムの現状調査を実施し、最新技術情報や他自治体の動向情報をふまえながら、本市情報システム最適化の実施計画の策定を行い、最適化の実施判定を得られた。</p> <p>本件での工程の進め方は、最適化実施判定後の個別システムの再構築におけるモデルケースとなりうる。</p> <p>最適化の実施判定を得られた後、策定した最適化実施計画をもとに、情報システム全体の最適化を推進する。</p>	B	<ul style="list-style-type: none"> 最適化の実施が決定された場合、構築に向けた要求定義を実施し、共通基盤システムの構築、各情報システムの再構築を進める。
	課題、今後の方針、改善事項など	<ul style="list-style-type: none"> 各システムの再構築を進める体制や支援方法を実現する必要がある。 策定した最適化実施計画の進捗状況管理や効果測定、場合によっては実施計画の見直しを行う必要がある。 システム再構築時やシステム運用について、ガイドラインや基準書等を整備し、監視する必要がある。 		